

① **研究課題名**：整形外科領域での腹臥位手術における褥瘡発生を引き起こす要因の分析

② **研究の目的**：

名古屋市立東部医療センター手術室では、整形外科腹臥位手術において他の手術と比較し褥瘡（持続する発赤・水疱）が高率に発生しています（整形外科領域腹臥位手術の褥瘡発生率 21%、その他の全身麻酔下手術の発生率 0.2%）。現在、体位作成では4点支柱の上にポリウレタン製のマットレスを敷き頬部、胸部、腸骨部、膝には皮膚保護シートを褥瘡対策の除圧目的で使用していますが、他の手術と比較し、整形外科腹臥位手術に褥瘡が高率に発生する要因は明らかになっておらず、特異的な要因を特定することができれば褥瘡発生のリスクを低減に役立てることが可能と考えます。本研究は、整形外科領域における腹臥位手術の褥瘡発生に繋がる因子を探索することを目的として行います。

③ **研究期間**：西暦 2019年8月 ～ 2019年10月24日

④ **研究代表者及び研究実施施設**

研究代表者：手術室 三輪明子、共同研究者：手術室 森沙野佳

研究事務局：手術室 小塚亜矢

研究実施施設：名古屋市立東部医療センター

⑤ **研究の対象**：

西暦 2019 年 4 月 1 日から西暦 2019 年 7 月 31 日までに名古屋市立東部医療センター整形外科領域で腹臥位手術を受けた方

⑥ **調査項目**：

1)手術名 2)年齢、3)性別、3)体格指数 (BMI)、4)術前・術直後の血液検査値 (ヘモグロビン (Hb)、総蛋白 (TP)、アルブミン (ALB))、5)糖尿病の有無、6)HbA1c、7)術中褥瘡予測スコア (OPDS)、8)腹臥位時間、9)体位作成人数、10)褥瘡発生者には褥瘡発生部位、11)その他 (褥瘡発生後の処置)

⑦ **研究の方法**：

整形外科腹臥位手術における褥瘡発生群と未発生群の「⑥調査項目」のデータを比較します。

⑧ **研究成果の公開**

研究結果は、学会や学術雑誌にて公表予定です。

⑨ **個人情報の保護**

あなたのカルテ番号とは異なる新たな番号を付番し、その番号を用いて研究に必要な情報収集を行います。このため、個人情報が外部に漏れることはありません。

この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。

⑩ **利益相反**

本研究に係る利益相反はありません。

⑪ **問い合わせ先**

研究事務局	所属	研究責任者
名古屋市立東部医療センター 住所：〒464-8547 名古屋市千種区若水1丁目2番23号	看護部 (中央手術室)	三輪 明子 TEL：052-721-7171 (代表)